

今年度の進路については

長い休校で、三年生の皆さんは進路のことが心配になっていることでしょう。確かに、今月九日に予定されていた高校説明会が中止になったことを初めとして、今後の進路の取り組みにも影響や変更が生じることは否めません。

がっかりしないでください。逆に、今年度の進路の取り組みには新しい方向性が見つかるような気がします。

南舎二階の少人数教室に、三年生のための各高等学校のパンフレットや資料がクラスごとにうずたかく積みまれています。やがて三年生一人一人に配られることでしょう。

このパンフレット類が配られることを当たり前に考えてはいけません。高校の情報は与えられるものではなく、自分から手に入れるべきものです。パンフレットや資料が与えられたら、自分から必要な情報を確実に手に入れればよいのです。穴が空くほど読み込み、目指す高校の情報を完璧に自分のものにするのです。この学校はどんな目標で、どのような学習に力を入れ実績を上げているか、そういうことがすぐさま答えられるようにまで情報を得ておくことです。



高校説明会は中止になりました。しかし、高校は各校の紹介DVDを作成して配付してくれました。中学校の職員に見せてもらえるのを待つのではなく、受験生が自分の意志で貪欲に見てほしいと私は思います。高校側はたった一人でも高校を見学したいという申し出があれば、引き受けるといっています。実際に目で確かめ、肌で感じたいという生徒は、自分から足を運ぶべきです。

つまりは、今年度の進路については、受け身ではだめだということ。変更や中止があったことを嘆くばかりで受け身の姿勢をこの先とりに続けていたら、得られるものは何もないかもしれません。

四月二十四日に「自分から積極的に『求める』ことを」という文章を私は書きました。どうですか。休校中に高校のHPにアクセスしましたか。これからも、どんどん自分から動きましょね。これって、『主体性』そのものですよね。瑞浪北中学校で大切にしていることがこういうところでも発揮されなければなりませんね。

(六月一日 記)